

令和6年度 第2回 事業評価対象事業の一覧表

(再評価)

資料 No	事業種名	事業名	前回評価 年度	再評価 理由	事業概要	審議区分
3	道路事業	一般国道24号 寺田拡幅	R2	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 寺田拡幅は、城陽市内における一般国道24号の交通渋滞の緩和、交通事故の減少を目的としており、新名神高速道路と一体的に整備することで周辺開発の支援に寄与する全長2.1kmの道路 ●事業化年度 : 平成25年度 ●全体事業費 : 約195億円 ●事業の進捗 : 約79% (令和6年3月末現在) ●今後の予定 : 早期の開通を目指す 	重点
4	河川事業	淀川総合水系 環境整備事業	R5	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 淀川水系において水質の改善、良好な生物の生息・生育・繁殖環境の保全・再生及び、地域と連携した水辺整備による河川利用の推進するもの。 ●事業化年度 : 平成元年度 ●全体事業費 : 367億円 ●事業の進捗 : 48% ●今後の予定 : 【自然再生】令和25年度に事業完了予定 【水辺整備】令和17年度に事業完了予定 	重点
5	港湾事業	大阪港北港南地区 国際海上コンテナ ターミナル整備事業	R2	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 国際コンテナ戦略港湾である阪神港において、ハブ機能を強化し、国際基幹航路の我が国への寄港を維持・拡大すると共に、アジア等増大するコンテナ需要に対応する。 ●事業化年度 : 平成3年度 ●全体事業費 : 約2,715億円 ●事業の進捗 : 約76.1% ●今後の予定 : 着実に整備を行い、事業進捗を図る 	重点
6	港湾事業	舞鶴港和田地区国際物流 ターミナル整備事業	R1	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 国際物流ターミナルを整備することにより、近畿圏北部を発着するコンテナ貨物需要に対応する。貨物需要の増大や効率的な物流への対応する。 ●事業化年度 : 平成元年度 ●全体事業費 : 約808億円 ●事業の進捗 : 約65% ●今後の予定 : 確実に推進し事業進捗を図る 	重点
7	港湾事業	日高港塩屋地区 国際物流ターミナル 整備事業	R1	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 国際物流ターミナルを整備することにより、船舶の大型化等に対応することで輸送効率化を図り、合わせて荒天時の航行船舶の海難減少のための避難泊地を確保する。 ●事業化年度 : 昭和60年度 ●全体事業費 : 約227億円 ●事業の進捗 : 約97.3% ●今後の予定 : 令和8年度完成に向け着実な事業進捗を図る 	一括

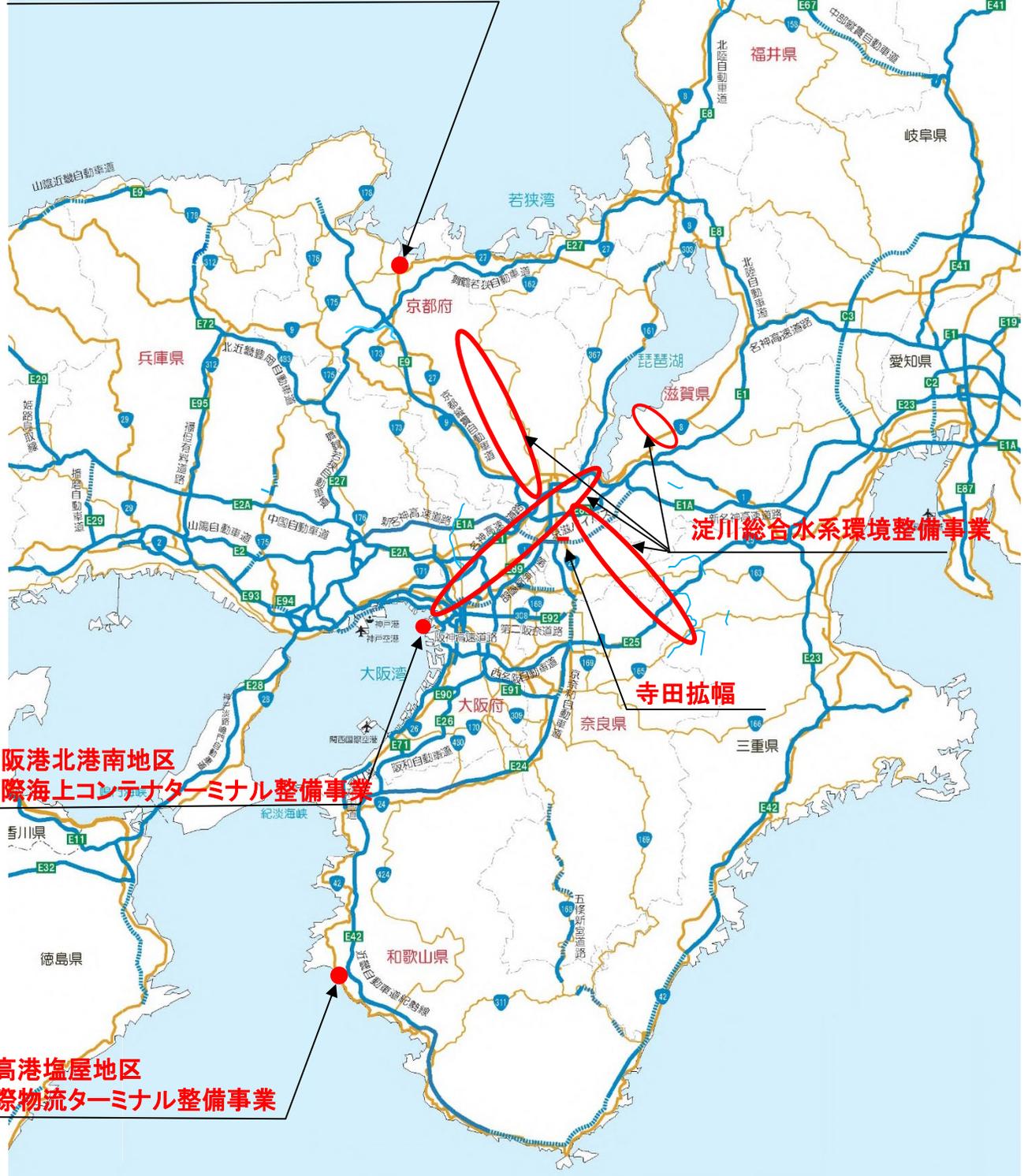
[再評価理由]

- ① : 事業採択後3年間に経過した時点で未着工の事業
- ② : 事業採択後5年間に経過した時点で継続中の事業
- ③ : 準備・計画段階で3年間に経過している事業
- ④ : 再評価実施後5年間に経過している事業
- ⑤ : 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ⑥ : 道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業

No. 2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(令和6年度 第2回)

事業評価対象事業の位置図

舞鶴港和田地区国際物流ターミナル整備事業



大阪港北港南地区
国際海上コンテナターミナル整備事業

淀川総合水系環境整備事業

寺田拡幅

日高港塩屋地区
国際物流ターミナル整備事業